

鈴鹿市総合計画審議会委員名簿

役 職	氏 名 (敬称略)	団 体 名 等
会長	松田 裕子	三重大学 学長補佐
副会長	水野 克則	鈴鹿市自治会連合会 会長
委員	磯部 友彦	鈴鹿市都市計画審議会 会長
委員	伊藤 京子	鈴鹿市社会福祉協議会 次長
委員	岡田 篤典	鈴鹿市PTA連合会 顧問
委員	尾崎 郁夫	鈴鹿市医師会 会長
委員	小田 栄次郎	ホンダモビリティランド株式会社 常務取締役 鈴鹿サーキット総支配人
委員	杉山 範子	鈴鹿市環境審議会 委員
委員	田中 彩子	鈴鹿商工会議所 会頭
委員	富井 利博	鈴鹿市スポーツ協会 事務局長
委員	西村 伸吾	鈴鹿地区労働者福祉協議会 会長
委員	長谷川 玲子	鈴鹿市男女共同参画審議会 委員
委員	服部 高明	鈴鹿市私立幼稚園協会 会長
委員	平子 伸	鈴鹿農業協同組合 専務理事
委員	古戸 沙弥	公募市民委員
委員	松蔭 康博	鈴鹿市教育委員会 委員
委員	水木 千春	鈴鹿市防災会議 委員
委員	森 隆裕	三重県デジタル社会推進局 デジタル改革推進課長
委員	矢田 和夫	鈴鹿市漁業協同組合 代表理事組合長
委員	吉崎 美穂	鈴鹿国際交流協会 専務理事

団体名等は2023（令和5）年12月時点

鈴鹿市総合計画審議会への諮問

鈴総政第631－19号

令和4年10月3日

鈴鹿市総合計画審議会 会長 松田 裕子 様

鈴鹿市長 末 松 則 子

諮 問 書

鈴鹿市総合計画の策定に当たり、鈴鹿市総合計画審議会条例（昭和52年3月31日条例第2号）第2条の規定により、貴会の意見を求めます。

鈴鹿市総合計画審議会からの基本構想への答申

令和5年9月29日

鈴鹿市長 末 松 則 子 様

鈴 鹿 市 総 合 計 画 審 議 会
会 長 松 田 裕 子

鈴鹿市総合計画基本構想について（答申）

令和4年10月3日付け鈴総政第631－19号にて諮問された鈴鹿市総合計画基本構想について、本審議会で審議した結果、原案が適当であるとの結論を得たので答申します。

令和5年12月22日

鈴鹿市長 末 松 則 子 様

鈴鹿市総合計画審議会
会長 松 田 裕 子

鈴鹿市総合計画（前期基本計画）について（答申）

令和4年10月3日付け鈴総政第631－19号にて諮問された鈴鹿市総合計画（前期基本計画）について、本審議会で審議した結果、原案が適当であるとの結論を得られました。本答申及び審議過程における各委員からの意見を十分踏まえ、鈴鹿市総合計画に基づく事業を着実に進められるよう、次の意見を付して答申します。

なお、人口減少・少子高齢化が一層加速する中、持続可能なまちづくりが求められていますので、鈴鹿市総合計画の推進に当たっては、住民主体のまちづくり活動の推進に加え、変化する市民ニーズや社会的要請に柔軟に対応しながら、限られた経営資源を成果に基づき配分し、より効果的な事業展開を図ることにより、将来都市像である「ひとがつながり DXで未来を拓く #最高に住みやすいまち鈴鹿」の実現に努められたい。

【総合計画を進める上での留意点】

- SDG s が目指す「誰一人取り残さない」という原則を鈴鹿市においても留意し、計画を推進されたい。
- 多様な主体との協働を進めるに当たり、「みんなの取組」を市民が主体となって進められるよう、市民活動の支援に努められたい。
- 国際的に知名度の高い都市として、市内の評価だけでなく、市外からの評価についても測定する手法を検討されたい。
- 政策の立案に当たっては、市民ニーズをしっかりと把握した上で行われたい。
- デジタル活用（D X）を進める上では、デジタルディバイドの解消に努めつつ、地域づくり活動の促進などは、アナログで進めることが重要なことにも留意されたい。

【総合計画の周知に関する留意点】

- 総合計画に掲げた目標を多くの市民と共有することで、協働の意識が高まると考えられるため、市民の総合計画に対する認知度が高まるよう努められたい。
- 総合計画の周知については、多様な媒体を通じて行い、また、その見せ方も工夫し、さらに、対面での周知も積極的に努められたい。